

当院における歯周炎患者の治療のゴール設定 特に、骨レベルと歯肉レベルの観点から

山口歯科医院（鹿行支部）

山口 将日

歯周病治療には大きく、炎症のコントロールと力のコントロールが含まれる。

今回はそのうち、当院における炎症のコントロールのゴール設定についてお話し、皆様からのご批判を頂きたい。

炎症のコントロールに関して、当院では以下のような治療のゴールを設定し、患者さんとの話し合いの中で個々に治療目標を決めている。

炎症のコントロール

1、プラーク指数：15%以下

わかりやすい目安：プラークのついている歯面を自分の歯の本数以下にする。

2、ポケット検査時の出血（BOP）：できればなし。

あっても10%以下

3、4ミリ以上のポケット：できればなし。

あっても10%以下で、6ミリ以上の深いポケットはない。

4、歯槽骨には、垂直性の骨欠損がない。（水平性の骨欠損のみ）

5、付着の形態は、生物学的幅径(Biologic Width)に則った付着形態

メンテナンス（定期健診）に入る前に、これらの達成項目が多ければ多いほど、

再発のリスク（危険性）は、少なくなるが、

それを達成しようとすると、時間がかかったり、費用がかかったり、手術が必要だったりすることが多いため、どのあたりで折り合いをつけるかは、患者さんとの相談が必要となる。

今回は、実際の症例を元にどのように相談およびゴール設定をしているかをお示したい。

みなさまのご批判をいただければと思います。

2 ページ目に連絡先・日歯生涯研修コードなど記載

連絡先：0299-73-2241

住所：行方市蔵川 426-3

所属：山口歯科医院

氏名：山口将日

会員の場合 支部名：鹿行

電話番号：0299-73-2241

Fax 番号：0299-73-2139

e-mail：masahi14@aqua.ocn.ne.jp